

The Flame of Hope



The Camino of Santiago

サンティアゴ巡礼

ルルドからサンティアゴへ

2021年7月

2021年7月 サンティアゴ巡礼

フランスのルルドからスペインのサンティアゴへ

- ❖ 『希望の火』アースキャラバンは、人類の本来の道を照らし出し、人々が新たに目覚める旅となる巡礼を開催します。私達は、人々がお互いの幸せに責任を持ち、ユーモアあふれる温かい関係性で人類が一つにつながる世界を創造することを心から願っています。
- ❖ もし、あなたが自分の人生の使命に目覚めて生きたいと願っているのであれば、サンティアゴ巡礼と『希望の火』の巡礼が融合したこの旅は、あなたにとって人生のターニングポイントとなる素晴らしい旅となるでしょう。
- ❖ キリスト教の三大巡礼地の一つである聖ジェームスを祀る教会への巡礼(サンティアゴ・デ・コンポステーラ)は世紀にまで遡り、中世ヨーロッパにおいて最も有名な巡礼となりました。いつの時代も全ての文化圏や信仰に対して開かれ世界から多くの巡礼者を受け入れてきました。
- ❖ 7月25日はサンティアゴの祝日です。この日が日曜日と重なる年は「ジャコベオ」と呼ばれ、年間を通して国内のすべての路上で催し物や祭りが開かれ、特に盛大に開かれます。2021年はジャコビアン之年、この特別な聖年をサンティアゴで共に祝いましょう!
- ❖ アースキャラバン『希望の火』巡礼は、人種、宗教、国籍、思想条件などあらゆる違いを超えて人と人が出会いお互いの文化を共にわかち合うことを目的としています。フランスのルルドからスペインのサンティアゴへの巡礼を通じお互いの信仰や文化を讃嘆し合い、融合へと向かう精神のつなぐ精神の向上をを共に祝いましょう。
- ❖ その過程で、同じ精神を共有する他のコミュニティと出会いより良き人生を共に創造していきます。



目覚めと悟りへの道

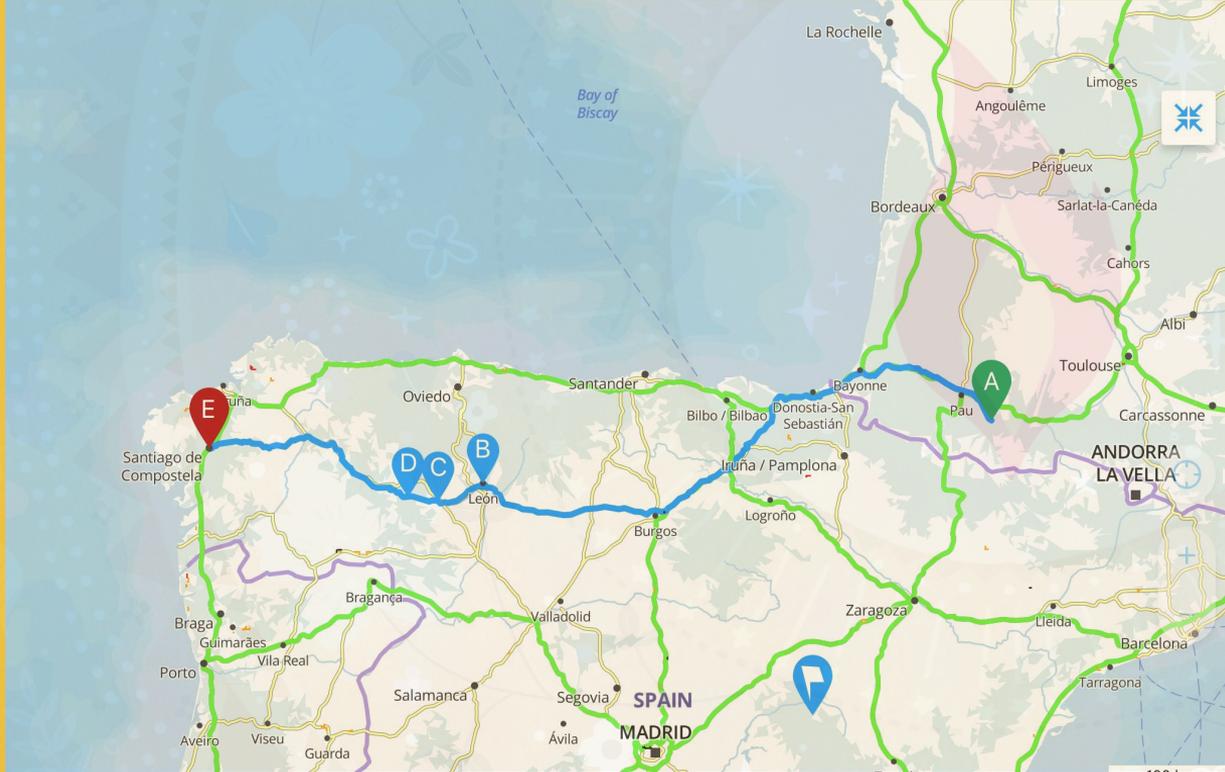


光の戦士になる

プログラム ルルドからサンティアゴへの巡礼 7月4日から10日(7泊7日)

- 1日目7月4日** 日曜日 ルルドに集合。国際空港(フランス、タルブ・ルルド・ピレネー又はトウルーズ)ルルド泊。
- 2日目7月5日** 月曜日 ルルド市長との希望の火の式典。忍者ホープワークショップ。ルルド聖教会のミサに参加。ルルド泊。
- 3日目7月6日** 火曜日 ルルドからバスでレオンへの出発。レオンに到着し午後時にレオン大聖堂で式典。レオン泊。
- 4日目7月7日** 水曜日 レオン・アストルガ。午前中のレオン市長との式典。レオンからバスで発しオルビゴ・ホスピタルまで。アストルガまでウォーキング(11 Km) アストルガ泊。
- 5日目7月8日** 木曜日 アストルガからカストリージョ・デ・ロス・ポルバザレス までウォーキング(7km)カストリージョ・デ・ロス・ポルバザレスで昼食。バスでフォンセバドンに向けて出発。フォンセバドンからマンハリンまでウォーキング(5Km) バスでモンテ・ド・ゴゾ(サンティアゴ・デ・コンポステーラ)に向けて出発。サンティアゴ泊。
- 6日目7月9日** 金曜日 サンティアゴ市長と式典。夕方、アミナダブのコンサート。サンティアゴ泊。
- 7日目7月10日** 土曜日 午後12時サンティアゴ大聖堂での式典。夕方、アミナダブのコンサート。巡礼終了。サンティアゴ泊。

ルルド - レオン - サンティアゴ・デ・コンポステラ 854 km





ルルドの聖地

ロザリオ・バジリカ聖堂が聖母マリアが現れたマッサビエルの洞窟の上に建ち、厳粛な雰囲気があります。奇跡が起こると信じて訪れた人々が、残っていた杖が印象的です。堂内の奥にある15枚の大きなヴェネツィアンモザイクの絵には、キリストの生涯が描かれています。

その上には、聖母マリアが自らの名を「無原罪の御宿り」と告げたことにちなんでペイラマル神父が建てた聖堂があり、ペテロの像やベルナデットの聖遺物が安置されています。

ルルド

ルルドは、フランスとスペインの国境にあるピレネー山脈の麓に位置する、人口1万5千人足らずの小さな町ですが、ルルドはキリスト教の巡礼者をはじめ年間600万もの人々が訪れる観光地です。

その始まりは、1858年2月11日に14歳の少女ベルナデット・スビルーが聖母マリアを目撃し、そのお告げに従って触れた岩から、泉が湧いたという奇跡によるものです。「ルルドの生ける泉」と呼ばれる水は難病をも治癒させるといわれ、観光客のほかに数万人もの病人が奇跡にすがるためにルルドを訪れています。

マッサビエルの洞窟

マッサビエルの洞窟は、まさに聖母が現れたとされる場所です。聖母マリアはベルナデットの前に18回も現れ、あるとき泉の水を飲み顔を洗うよう促したとか。マリア様が指示した洞窟の岩の下には、はじめは泥水が溜まっているだけでしたが、次第に澄んだ清水となったといわれています。これが、奇跡の泉とも呼ばれる「ルルドの泉」です。



レオン

レオンはスペインの北西に位置するレオン州の州都です。都市人口は127,817人(2015年)です。サンティアゴの道にあるレオンの町は、野外美術館のようなものです。プエンテカストロ地区がトリオ川の左岸沿いにあります。

スペインで最も重要な記念碑的な複合施設の1つが私たちを待っています。ゴシック様式の大聖堂と、幻想的なステンドグラスの窓、サンイシドロ王立大学教会内のロマネスク様式の絵画、サンマルコスの素晴らしいファサード、類稀なガウディの設計によって建設された建築物カサ・ボティネスなどがあります。

レオンからの道:サン・ジャン・ピ・デュ・ポーの次に選ばれる巡礼出発地

レオンは素晴らしい伝統が背後にある都市であり、フランスのサン・ジャン・ピ・デュ・ポーの次に選ばれる出発地点です。レオンから終着地点までは14の巡礼ポイントがあり、カスティーリャ-レオン市はサンティアゴ・デ・コンポステーラからわずか300kmに位置し、サンティアゴへの道が200km以上も州内を通り9つの巡礼ポイントがあります。



アストルガ

サンティアゴ巡礼においてレオン州を通る際にもう一つ重要な場所となるのがアストルガです。アストルガはレオネーゼ地方に位置するマラガテリアの首都でもあり、巡礼路と the Via de la Plata (巡礼の道) が合流する要所でもあります。この都市は、ローマ時代から培られてきた壮麗さが凝縮された、豊潤で記念碑的な複合施設と深い歴史を体感出来る場所であり、必ずや巡礼者を楽しませてくれるでしょう。

ガウディの司教館

現在は宗教美術博物館として利用されている、カタルーニャ州外では数少ない建築家ガウディによる作品の1つである司教館、そして大聖堂は、後期ゴシック様式からネオゴシック様式まで、同じコインの表裏のように見えます。アストルガには見所がたくさんありますが、巡礼で訪れる人は必ずや中世の城壁を眺めたり、シナゴグの庭を散歩したりすることでしょう。





ラクルス・デ・フェロ

レオン州のフォンセバドンとマンハリンの町の間には、サンティアゴ巡礼の「屋根」があります。標高 1,500メートルのイラゴ山の頂上にある5メートルに及ぶ木製ポールに立つ鉄の十字架の元に、巡礼者は何世紀にもわたって石を投げてきました。

伝統によれば、旅の途中で集めた石を道に背を向けて投げ、守護を求め、旅の幸運を祈るといいます。フォンセバドンとマンハリンは20世紀後半に放棄されましたが、カミノ・デ・サンティアゴの人気が高まるにつれ、観光のために生まれ変わりました。



巡礼に参加しよう！
お問い合わせ



europa@flameofhope.net
https://flameofhope.net

お問い合わせ：遠藤 磨祐
090-1903-3698 : mayu@taosangha.com

Europe

France

+33-6-0834-5361

Austria

+43-699-1104-8522

Netherlands

+31-6-4480-4369

Spain

+34-693-502-472

Middle East

Moshav Luzit 5, 99845

+972-54-58041

Canada and North America

375 Jane street

Toronto, Ontario M6S 3Z3 Canada

+1-416-925-7575

Head Office

Kyoto

367-2 Motomachi, Higashiyama-ku, Kyoto, Japan

+81-75-551-2770

Tokyo

1-5-11 Nogata, Nagano-ku, Tokyo, Japan

+81-3-3385-7558